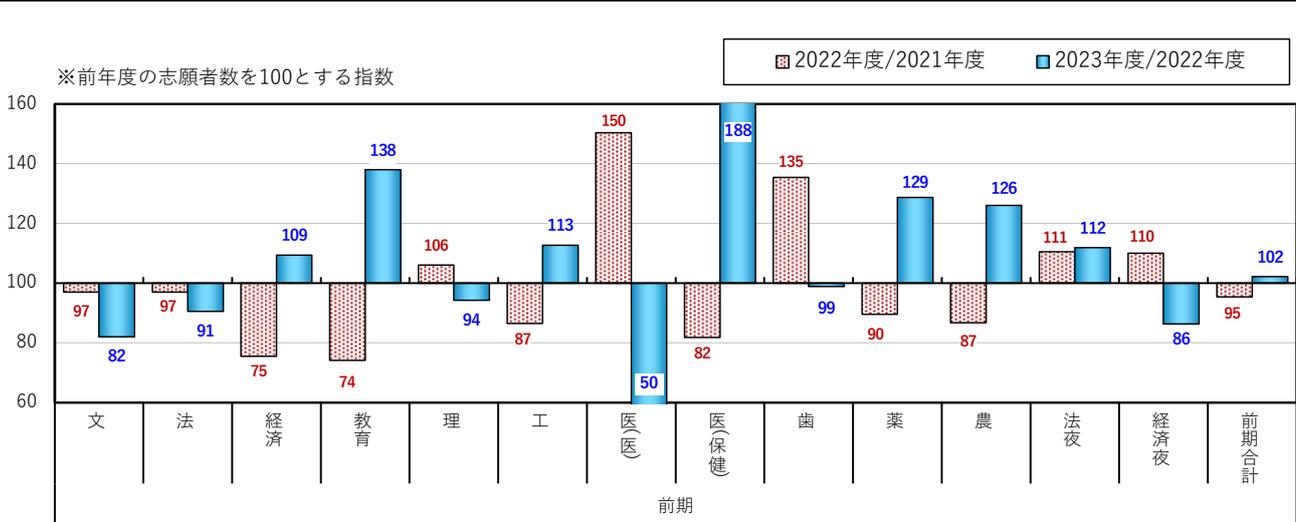


岡山大：大学全体では後期廃止で大幅減少、前期のみでは微増

前期：+74人



主な入試変更点

第1段階選抜基準変更：医(医)<前>…4倍(通過予定人数：392人)→3倍(通過予定人数：285人)
 選抜方法：後期日程廃止
 募集人員：後期日程廃止に伴う前期募集人員変更
 文…118人→120人 法…140人→152人 経済…>131人→143人
 医(医)…98人→95人 医(保健/看護学)…49人→53人
 医(保健/放射線技術科学)…24人→27人 医(保健/検査技術科学)…<前>24人→28人
 歯…30人→34人 薬(薬)…27人→28人
 工(工/環境・社会基盤系)…57人→56人 工(工/情報・電気・数理データサイエンス系)…132人→143人
 工(工/化学・生命系)118人→123人 農…86人→82人
 配点変更：医(保健/検査技術科学)…<共テ>国<200>+歴公<100>+数2<200>+理2<200>+外<200>=総点<900>
 →国<100>+歴公<50>+数2<200>+理2<200>+外<200>=総点<750>
 個別試験：医(保健/検査技術科学)…数+理医2+外→理2+(数 or 外) ※数、外は必須から選択へ

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、後期廃止もあり1,273人(73)の大幅減少。前期のみでは74人(102)の微増だが、後期廃止に伴う前期募集人員増加により、前期志願倍率は2.31倍→2.28倍にわずかにダウン。学部・学科別では、医(保健)(188)、教育(138)、薬(129)、農(126)は大幅増加。一方で、医(医)(50)、文(82)は大幅減少。なお、法夜(117)、経済夜(86)を除いても、78人(102)の微増。

<前期日程>

- 文(82)は、系統への低い人気もあって、大幅減少で3年連続減少。志願倍率は募集人員が2%増加もあり2.2倍→1.8倍にダウン。
- 法(91)は、減少で5年連続減少。志願倍率は募集人員が9%増加もあり2.1倍→1.8倍にダウン。
- 経済(109)は、前年度大幅減少の反動で増加だが、志願倍率は募集人員が9%増加もあり2.1倍で前年度並。
- 教育(138)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。課程・専攻・教科別では、(養護教諭養成)(93)のみやや減少。他の課程・専攻・教科はいずれも増加で、特に、(学校教育教員養成/小学校教育)(162)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願者数は4年ぶりに200人を上回った。(学校教育教員養成/特別支援教育)(135)、(学校教育教員養成/中学校教育-実技系)(130)、(学校教育教員養成/幼児教育)(129)はいずれも大幅増加。
- 理(94)は、やや減少。学科別では、(数)(149)は大幅増加、(生物)(107)はやや増加で2年連続増加。一方で、(地球科学)(57)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(化)(80)も大幅減少で志願者数は6年ぶりに50人を下回った。
- 改組2年目の工(113)は、増加。系別では、4系列がいずれも増加。特に、(工/化学・生命)(119)は大幅増加だが、志願倍率は募集人員が4%増加もあり1.7倍→1.9倍のアップに留まった。(工/機械システム)(112)、(工/環境・社会基盤)(110)、(工/情報・電気・数理データサイエンス)(110)もいずれも増加。
- 医(医)(50)は、前年度1.5倍の反動と第1段階選抜基準を4倍→3倍が厳しくなったことで半減。志願倍率は募集人員が3%減少にもかかわらず5.5倍→2.8倍にダウンし、第1段階選抜基準倍率に達しなかった。
- 医(保健)(188)は、前年度大幅減少の反動で激増。専攻別では、(保健/放射線技術科学)(203)、(保健/検査技術科学)(200)はいずれも前年度大幅減少の反動で倍以上。(保健/看護学)(173)は2年連続大幅増加。
- 歯(99)は、前年度大幅増加の反動はなく前年度並。志願倍率は募集人員が13%増加もあり2.9倍→2.6倍にダウン。
- 薬(129)は、前年度減少の反動で大幅増加。学科別では、(薬)(156)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(創薬科学)(95)の志願者数は3人減少だが、3年連続50人台。
- 農(126)は、前年度減少の反動に加えて系統への高い人気もあって大幅増加。志願倍率は募集人員が5%減少もあり2.3倍→3.0倍にアップ。